

## 「中間のまとめ」作成の目的

### 【審議会における指摘事項】

東京都が勝手に策定すると、連携は図れない

### 【ポスト愛知目標における世界的な課題】

引き続き、生物多様性の主流化が必要

◆豊かな自然を有する東京の生物多様性の将来像(案)を示し、様々な主体から意見をもらうことで、**都民や企業とともに作る将来像を目指す。**

◆各主体が生物多様性を考え、自ら取り組める行動について考えるきっかけとし、生物多様性を自分事化することで、**戦略策定後における様々な主体の自主的な取組につなげる。**

## 「中間のまとめ」の整理に向けたポイント

### (1) 将来像の年代設定

⇒2050年を将来像として設定

#### 【委員意見】

・ポスト愛知目標や次期生物多様性国家戦略で、**長期的な将来像を2050年に設定**する予定であり、都も国際的な動きや国と整合を図るべき

※ポスト愛知目標や次期国家戦略の**短期目標**については2030年で検討しているため、都も2030年目標を設定する方向で検討(=都の「戦略ビジョン」とも整合)

### (2) 将来像の描き方

⇒東京を自然の特徴だけでなく、社会的な特徴も含めて整理

#### 【委員意見】

・東京にも豊かな自然が残されているため、東京の**特徴的な自然の魅力**を内外に発信し、東京の**プレゼンス向上**につなげるべき

・都は区市町村の行政界を超える**広域的な生態系のつながり**を示すべき

・東京の**社会的側面や経済活動**なども踏まえた将来像とすべき

### (3) 記載内容のレベル

⇒中学生程度の年代が理解できる分かりやすい内容と情報量で整理

#### 【委員意見】

・専門的になりすぎず中学生に分かるレベルにすることで**幅広い年代が理解**できる

・将来像として設定する2050年に**社会の担い手として中心的な役割を果たす**のが今の中学生であり、その年代に訴求できる内容とすべき

・SDGs世代の**副読本として活用**することで若者の理解を深めることで、生物多様性の将来像の実現につながる

## 「中間のまとめ」構成イメージ

※課題や将来像にポストコロナも反映

地図やイラストを多用し、読みやすい内容や文字により、学生のアクティブラーニングの教材として活用される体裁を目指す(A4横・数十ページ)

目次	掲載内容	
第一章 生物多様性とは	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「中間のまとめ」の目的</li> <li>◆生物多様性とは</li> <li>◆生物多様性を巡る動向</li> </ul>	第4回 検討会
第二章 東京における生物多様性の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆東京における生物多様性の恵み</li> <li>◆東京における生物多様性の現状と課題</li> </ul>	
第三章 東京における目指すべき生物多様性の将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆東京の生物多様性の将来像</li> <li>◆東京の社会全体の将来像</li> <li>◆東京の地形区分ごとの将来像(山地、丘陵地、台地、低地、島しょ)</li> </ul>	第5回 検討会
第四章 主な施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆主な施策の方向性</li> <li>[ ・検討体制・委員 ]</li> <li>[ ・検討過程 ]</li> </ul>	第6回 検討会